

設定理由：看護の対象を理解するためには、人間について深く考えることが必要である。人間の生活と宗教とが深く結びついていることを理解することも大切である。生命を尊重し、人間の尊厳を守るための科目として設定した。

科目目標：人間の存在や価値について理解し、人間の尊厳・生きることの意義について考える能力を養う。

| 単 元 | 単 元 目 標 | 教 授 内 容 | 時間 | 方法 |
|------------|---|---|----|----|
| 1. 生命の尊重 | 1. 生命の発生や人の命を学ぶことを通して生命を尊重することの意義が理解できる。 | 1. 生命の尊重 1) 生命の不思議 2) 生命の発生 3) 物質としての生命 4) 霊的存在としての生命 5) 人の死とは | 8 | 講義 |
| 2. 倫理 | 1. 生命倫理の定義や背景を学ぶことにより、生命倫理について理解することができる。 | 1. 生命倫理 1) 生命科学の進歩と生命倫理 2) 生命倫理の定義 3) 生命倫理の登場 4) 生命倫理の背景 5) 医療と生命倫理 2. 職業倫理 | 8 | 講義 |
| 3. 人間の存在価値 | 1. 科学と生命倫理を通して人間とは何かを考察することができる | 1. 人間の存在価値 1) 科学の発達と人間 2) 生きているということ 3) 心と精神 4) 人間になること 5) 人間と良心 | 6 | 講義 |
| 4. 人間と宗教 | 1. 宗教の意味を学ぶことにより、多様な価値観を尊重することができる | 1. 人間と宗教 1) 科学技術と宗教 2) 宗教と文化 3) 心の遺伝子としての文化 4) 信仰と人間 5) 多様な価値観 6) 人間の尊厳 | 7 | 講義 |
| 5. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 提出物で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | マンガで学ぶ生命倫理 化学同人 | | | |

科目：論理学

1 単位（30 時間）

設定理由：思考内容やその結果を表現するときに論理的思考は重要である。他者の考えを理解し自己表現力を高めること、批判的な思考能力を養うことは重要であることから科目として設定した。

科目目標：論理的思考や文章表現の基礎を学び、自己の考えを論理的に表現できる能力を養う。

| 単 元 | 単 元 目 標 | 教 授 内 容 | 時間 | 方法 |
|---------------|------------------------------------|--|----|----------|
| 1. 論理的思考 | 1. 論理的思考について理解できる | 1. 論理学の原理 1) 論理学の歴史 2) 概念 3) 演繹的推理 4) 帰納的推理 5) その他の論理 | 6 | 講義 |
| 2. 批判的思考 | 1. 批判的思考について理解する | 1. 批判的な思考 1) 批判的思考とは（クリティカルシンキング） 2) 批判的思考の必要性 | 6 | 講義 演習 |
| 3. 論文の読み方・書き方 | 1. 論文の読み方が理解できる 2. 論文の書き方が理解できる | 1. 論文の読み方・書き方 1) 論文とは 2) 論文の読み方 3) 文法 4) 教材の分析・批判 5) 論文の書き方 | 12 | 講義 演習 |
| 4. ディベート | 1. ディベートの方法が理解できる | 1. ディベート 1) ディベートとは 2) ディベート演習 | 5 | 講義 演習 |
| 5. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | 野矢 茂樹：新版 論理トレーニング（産業図書） | | | |

科目：情報科学

1単位（30時間）

設定理由：情報システムに関心を持ち、情報化に対応し、情報管理の倫理を学ぶ必要があるため科目として設定した。

科目目標：統計の目的・意義・情報処理の活用方法について学ぶ。

| 単 元 | 単 元 目 標 | 教 授 内 容 | 時間 | 方法 |
|-----------------|-------------------------------|--|----|----------|
| 1. 情報処理 | 1. 情報処理の概念について理解できる | 1. 情報科学の基礎 1) 情報の定義 2) 情報科学とは何か 3) 看護と情報処理 4) コンピューターとは 5) コンピューターと情報処理 6) 情報の管理（倫理） | 6 | 講義 |
| 2. コンピューターの基本操作 | 1. コンピューターの基本操作が習得できる | 1. コンピューターの基本操作 1) 種類・装置の名称 2) 基本的な操作 3) 基本的な機能（文章作成・表計算） 4) 基本操作の演習 | 10 | 講義 演習 |
| 3. 統計処理の基礎 | 1. 統計処理の基礎が理解できる | 1. 統計処理のための基礎知識 1) 統計学とデータ 2) データの種類と集計方法 3) コンピューターによる統計処理 | 7 | 講義 演習 |
| 4. 文献検索 | 1. インターネットによる文献検索の方法について理解できる | 1. インターネットによる文献検索演習 | 6 | 演習 |
| 5. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | 生田敦司 他：情報リテラシーの基礎 | | | |

科目：教育学

1 単位（30 時間）

設定理由：自己の成長と自己教育力、自ら学び続ける基礎的能力を養うことは、看護教育のみでなく人間としての成長に必要であることから設定した。

科目目標：教育の意義と本質を学び、人間の成長との関連を理解し、自ら学び続ける方法を身につけ看護を探究していく能力を養う。

| 単 元 | 目 標 | 教 授 内 容 | 時間 | 方法 |
|---------|--|---|----|----------|
| 1. 教育原理 | 1. 教育の意義について理解する。 | 1. 教育の本質と目的 1) 教育とは何か 2) 教育の本質 3) 教育の目的 2. 発達と教育 1) 発達に及ぼす教育の役割 2) 身体的・精神的発達と教育 | 16 | 講義 |
| 2. 教育方法 | 1. 教育方法の原理について理解する。 | 1. 教育方法と評価 1) 学習指導 2) 学習指導の過程 3) 生活指導 4) 教育の評価 | 7 | 講義 |
| 3. 体験学習 | 1. 体験学習の必要性を理解し自ら考え・学べる力を身につけるための基礎となるものを養う。 | 1. 体験学習の意義 1) 体験学習とは 2) グループワーク | 6 | 講義 演習 |
| 4. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | 島田 博司 : 他者との出会いを仕掛ける授業 (人文書院) | | | |

科目：医療と経済

1単位（15時間）

設定理由:わが国の健康保健の現状および将来の展望について理解する。また医療が抱える経済的諸問題を知り、医療に携わる側、患者の側の両面から対策を考察できるよう科目として設定した。

科目目標：医療経済学として特に医療に関する経済的諸問題とその対策を学ぶ。

| 単 元 | 単 元 目 標 | 教 授 内 容 | 時間 | 方法 |
|---------------|---------------------------|---|----|----|
| 1. 経済学の理論 | 1. 経済学の基礎について理解する。 | 1. 経済学の一般理論 1) 経済学とは 2) 日本経済と世界経済 3) 国民生活の動向 | 4 | 講義 |
| 2. 医療の保障制度と経済 | 1. 医療保険制度による経済の現状を知る | 1. 医療と関連した社会保険制度による経済状態 1) 健康保険制度と経済 2) 介護保険制度と経済 3) 高齢者医療制度と経済 4) 外国における医療の保険制度と経済 | 4 | 講義 |
| 3. 医療の経済的特性 | 1. 医療における社会経済的基礎について理解する | 1. 医療サービスの経済的特性 1) 医療費の考え方 2) 国民医療費の問題点 ・ 医療費増大の要因 3) 医療費の国際比較 4) 医療技術の進歩と医療費への影響 5) 看護と医療経済 6) 医療費の将来の見通し | 6 | 講義 |
| 4. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | 講師資料 | | | |

科目：心理学

1単位（30時間）

設定理由：看護者はまず自己理解が必要である。人間の心や行動の変化を学び、発達心理・社会心理の側面から対象を理解する必要があることから科目として設定した。

科目目標：人間の成長、発達に伴う心理的特徴について理解する。人間の心理と行動を多面的に捉えることができる能力を養う。

| 単元 | 単元目標 | 教授内容 | 時間 | 方法 |
|---------------|---------------------------------------|--|----|----------|
| 1. 発達の心理 | 1. 発達の原理と発達の各段階における特徴を理解する。 | 1. 発達の原理 1) 発達の傾向 2) 発達段階 3) 発達課題 2. 発達段階の特徴 | 6 | 講義 |
| 2. 学習の心理 | 1. 人間の行動の獲得と変容について理解する。 | 1. 学習理論 1) 行動理論と認知発達 2) 道徳の心理発達 3) 動機づけ理論 | 8 | 講義 |
| 3. 適応の心理・ストレス | 1. 人間の現実の環境に対する適応・不適応についての基本的原理を理解する。 | 1. 人と環境 1) 人と環境の関係 2. 自己 1) 自己意識・自己概念 2) 自己と自我 3) 自己意識の発達と適応 4) 自己洞察 3. 適応・不適応 1) 欲求 2) 欲求不満・葛藤・ストレス 4. 適応の機制 1) 適応機種の種類 2) 精神的健康 5. 危機理論（フィンク） 6. 障害受容（コーン） | 12 | 講義 演習 |
| 3. 集団の心理 | 1. 人間の集団の心理の基本を理解する。 | 1. 集団の形成と機能 1) 個人と集団 2) 集団形成の要因 3) 集団の型 4) 集団の構造化 2. 集団行動 1) 群集心理 2) 流言・流行の心理 | 3 | |
| 4. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | 辰野千寿：系統看護学講座 基礎分野 心理学（医学書院） | | | |

科目：人間関係論

1単位（30時間）

設定理由：看護者は人間関係の重要性を知り、目的に応じた役割を担う能力が要求される。人間関係を築くための基礎的知識と技術を学ぶために科目として設定した。

科目目標：人間関係の意義を理解し、人間関係を築くための基礎的知識・技術を学ぶ。

| 単 元 | 単 元 目 標 | 教 授 内 容 | 時間 | 方法 |
|------------------|-------------------------------------|--|----|----------|
| 1. 人間存在と人間関係 | 1. 社会における人間関係の意義が理解できる。 | 1. 人間存在と人間関係 1) 人間関係の意義 2) 社会的役割 3) ソーシャルサポートネットワーク 4) グループダイナミックス | 6 | 講義 |
| 2. コミュニケーション | 1. コミュニケーションの基本が理解できる。 | 1. コミュニケーション 1) コミュニケーションとは 2) コミュニケーションの障害 3) 医療とコミュニケーション | 8 | 講義 |
| 3. 医療と人間関係 | 1. 医療のなかでの人間関係の重要性が理解できる。 | 1. 医療と人間関係 1) 患者・家族との人間関係 2) 保健医療チームの人間関係 3) チームワーク 4) ノーマライゼーション | 6 | 講義 |
| 4. カウンセリングの理論と実際 | 1. カウンセリングの理論を学び技法を習得することで対人理解を深める。 | 1. カウンセリングの意義 2. カウンセリングの方法 | 9 | 講義 演習 |
| 5. アサーティブ理論 | 1. 人間関係を円滑にするための理論とその実際が理解できる。 | 1. アサーティブ理論 1) アサーティブ理論とは 2) アサーショントレーニング ロールプレイング | | |
| 6. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | 岩崎 久志 : 対人援助に活かすカウンセリング (晃洋書房) | | | |

科目：生活科学

1 単位（15 時間）

設定理由：看護者は日常生活において、身の回りの事象の中にある自然科学について学ぶ必要があるため科目として設定した。

科目目標：快適な日常生活と生活科学との関係を学び、看護場面への活用を理解する。

| 単 元 | 単 元 目 標 | 教 授 内 容 | 時間 | 方法 |
|--------------------|---------------------------|-------------------------------------|----|----------|
| 1. 生活科学と看護 | 1. 生活科学と看護の関係を理解する。 | 1. 生活科学と看護 | 4 | 講義 |
| 2. 年代・障害に応じた衣・住居生活 | 1. 快適な生活をするための生活科学を理解する。 | 1. 年代に応じた衣・住居生活 2. 障害に応じた衣・住居生活 | 6 | 講義 |
| 3. 看護場面に活かす科学 | 1. 看護場面に活かす科学について理解する。 | 1. 石鹼・沐浴と垢の関係 2. 看護に関わる単位(濃度・圧力) | 4 | 講義 演習 |
| 4. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | 講師資料 | | | |

科目：文化人類学

1 単位（15 時間）

設定理由：国際化社会に対応するためには、自国の文化を知り、異文化との共通点・相違点を理解する必要があるため科目として設定した。

科目目標：自分の住む社会の文化を理解するとともに、世界には多様な文化、社会、価値観があることを理解し、人間・社会の見方を広げる。

| 単 元 | 単 元 目 標 | 教 授 内 容 | 時間 | 方法 |
|-----------------|-----------------------------|---|----|----------|
| 1. 文化人類学の特徴 | 1. 文化人類学を学ぶ意義について理解できる | 1. 文化人類学・民俗学とは何か 1) 自己のアイデンティティと文化 2) 異文化の理解のために | 2 | 講義 |
| 2. 家族と社会 | 1. 社会における人と人とのつながりについて理解する。 | 1. 婚姻と家族 2. 地域社会と人間 3. 年中行事 | 4 | 講義 |
| 3. ライフサイクルと通過儀礼 | 1. 人の一生と通過儀礼について理解する。 | 1. 妊娠から出産へ 2. 年齢通過儀礼 3. 成年式から結婚へ 4. 葬送儀礼と死後の祀り | 8 | 講義 演習 |
| 4. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | 波平恵美子著：「文化人類学 カレッジ版」（医学書院） | | | |

科目：家族社会学

1単位（30時間）

設定理由：看護の対象を理解するためには、人間が生活する社会集団、社会の最小単位である家族についての知識が必要であるため科目として設定した。

科目目標：社会・家族の構造や機能について学び、社会的存在としての人間の理解を深める。

| 単 元 | 単 元 目 標 | 教 授 内 容 | 時間 | 方法 |
|----------------|---------------------------|--|----|----------|
| 1. 社会の概念 | 1. 人間の生活の基盤である社会について理解する。 | 1. 社会とは何か 2. 社会と集団 3. 社会構造と社会組織 4. 社会集団の特徴 5. 現代家族の諸問題 | 4 | 講義 |
| 2. 社会的行為 | 1. 社会の中での人間の行為について理解できる | 1. 相互作用 2. 社会関係 3. 人間関係 | 2 | 講義 |
| 3. 個人の社会化の形成過程 | 1. 社会と個人について理解する | 1. 個人の社会化 2. パーソナリティの形成要因 3. パーソナリティの形成過程 4. セクシャリティの理解 | 4 | 講義 |
| 4. 家族とは | 1. 社会の最小単位である家族について理解する | 1. 伝統的家族制度 2. 社会構造の変化と核家族 3. 家族と個人 4. 家族概念・規範のゆらぎ、家族の生活行動の変化 | 10 | 講義 演習 |
| 5. 家族と社会 | 1. 家族と社会の関係について理解する | 1. 基礎集団としての家族とは 2. 家族の形成・継承・解消 1) 結婚への道 2) 結婚と離婚 3. 地域と家族 | 4 | 講義 |
| 6. 家族発達段階論 | 1. 家族の各発達段階について理解する | 1. 家族発達段階の考え方 2. 家族発達段階のライフタスクと危機管理 1) 第1段階（新婚期） 2) 第2段階（出産・育児期） 3) 第3段階（子どもが学童期） 4) 第4段階（子どもが10代期） 5) 第5段階（子どもが巣立つ時期） 6) 第6段階（加齢と配偶者の死の時期） | 5 | 講義 |
| 7. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | 系統看護学講座 別巻 家族看護学（医学書院） | | | |

科目：医療英語

1 単位（30 時間）

設定理由：医療に関する文献の講読ができ、簡単な英作文ができ日常の英会話ができること、特に医療に関する英語は話すことも聴くことも流暢にできることを目標にするため設定した。

科目目標：医療・看護で用いる医用英語を学び、日常英会話の基礎的能力を養う。

| 単 元 | 単 元 目 標 | 教 授 内 容 | 時間 | 方法 |
|------------------|---------------------------|--|-----|----------|
| 1. 看護場面における日常英会話 | 1. 看護場面に用いられる英会話が習得できる。 | 1. 看護場面における日常英会話 1) 患者の紹介 2) 日常生活の状況 3) 患者の病状 | 1 4 | 講義 演習 |
| 2. 医用英語 | 1. 医用英語が理解できる。 | 1. 医用英語 1) 人体の構造 2) 疾患名 3) 症状 4) 検査 | 1 5 | 講義 演習 |
| 3. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | 講師資料 | | | |

科目：英語文献講読

1単位（15時間）

設定理由：医療に関する英文の文献を講読することができることを目標にするため設定した。

科目目標：原文の文献を、読むことができる。

| 単元 | 単元目標 | 教授内容 | 時間 | 方法 |
|------------|----------------------------|---|----|----|
| 1. 英語の文献講読 | 1. 医療に関する英文の文献を、通読することができる | 1. 英語文献について ・医療・看護に関する英文の文献 ・英語文献の検索方法 ホームページの紹介 アクセス方法説明 | 2 | 講義 |
| | | 2. 文献の通読 「NOTES ON NURSING」 の通読 | 12 | |
| 2. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | NOTES ON NURSING | | | |

科目：健康とレクリエーション

1単位（30時間）

設定理由：運動により、体力の維持・増進やストレスを発散し、健康的な生活をおくれるようにし、活動を通して仲間作り、主体性、協調性を身につけるための科目として設定した。

科目目標：個人および集団の健康づくりやレクリエーションプログラムの作成ができる。
体力の維持・増進と健全な心身の発達をめざす。

| 単 元 | 単 元 目 標 | 教 授 内 容 | 時間 | 方法 |
|----------------|---------------------------|--|----|----------|
| 1. 健康と運動 | 1. 健康のための運動の必要性が述べられる。 | 1. 健康と運動 1) 運動生理学 2) 運動の効果 3) リラクゼーション 4) ヒーリング | 6 | 講義 演習 |
| 2. 運動と体力 | 2. 体力の維持・増進ができる | 1. 運動と体力 1) ストレッチング 2) エクササイズ 3) エアロビクス 4) スポーツの実技 | 12 | 演習 |
| 3. レクリエーションワーク | 3. レクリエーションプログラムの作成ができる | 1. レクリエーションワーク 1) 余暇とレクリエーション 2) レクリエーションプログラム 3) レクリエーションの実際 | 11 | 講義 演習 |
| 4. 評価 | | | 1 | |
| 評価方法 | 試験で評価する。 方法は担当講師に一任する。 | | | |
| テキスト | 講師資料 | | | |